

進化と継承

福井県議会議員

笹原修之 NEWS



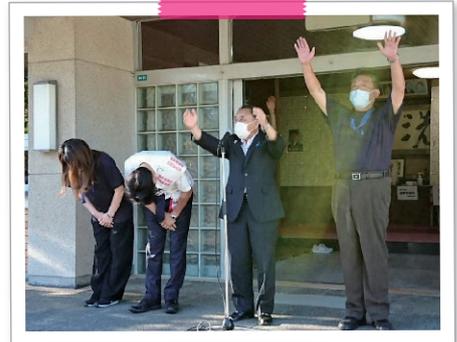
議員として初めての
定例議会でした

この度、7月10日の福井県議会議員補欠選挙におきまして、初当選させていただきました笹原修之でございます。あわら市内の多くの地区や各種団体、そして市議会議員の皆様よりご推薦を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

7月13日の初登庁より、あっという間に約3か月が過ぎました。私は総務教育常任委員会に所属し、会派は自民党福井県議会に籍を置かせていただくこととなりました。

9月5日より議会が開会し、静まり返った県議会議事堂の中で、冒頭に新人議員として先輩議員の皆様や、杉本知事をはじめとする理事者に挨拶を申し上げます。9月議会の主な内容としましては、8月の大雨や物価高騰による補正予算が中心でしたが、あわら市選出の県議会議員として、そしてご支援いただきました皆様の代弁者として、地域の声を県政に声を届けていく所存です。

9月13日には、トップバッターで一般質問をさせていただきました。今回はテレビ中継ということもあり、30分枠という限られた時間の中で身近な話題を精一杯述べさせていただきました。まだまだ始まったばかりですが、今後ともよろしくお願い申し上げます。



私が所属する総務教育常任委員会の主なテーマ

01 地域戦略部 北陸新幹線敦賀以西の着工に向けて

- ・事項要求に対する県の評価、年末の予算編成に向けた県の戦略
- ・京都府及び大阪府との意見交換、環境アセスメント調査の進捗状況

02 地域戦略部 地域公共交通の維持・活性化

- ・地域鉄道に対する支援の実現
- ・路線バスへの交通系ICカード導入効果、経費負担について

03 総務部・教育委員会 県職員等の定年引上げ

- ・定年引上げ対象者の職員確保と定年引上げ期間の新規採用の方針
- ・職員、教職員不足の状況認識と確保策

04 総務部 大学を核とした産学官医金連携による人材育成

- ・地元企業等が求める人材の育成、県内定着に向けた取組
- ・県立大学の新学部設置に向けた検討状況

05 地域戦略部 県都のまちづくり

- ・ランドデザイン案に掲げるプロジェクトの実効性の担保
- ・県、市、経済界との役割分担

06 教育委員会 デジタルによる学校改革

- ・県学校教育DX推進計画における教員の働き方改革の具体化
- ・デジタル教科書(英語)導入による学力向上策

07 教育委員会 部活動の地域移行

- ・国の提言を受けた県の対応方針
- ・今後の部活動の位置づけ



Q. 笹原 修之

芦原温泉駅は、金津創作の森や吉崎御坊、北潟湖などへの周辺観光への二次交通アクセスが悪い。県は福井県嶺北地域公共交通活性化協議会を設置し、新幹線駅からの利便性の高い2次交通整備について協議を進めていますが、現場からもしっかり意見を聴取し、観光地につながらない交通アクセスを改善すべきだと考えますが、県の所見を伺います。

Q. 笹原 修之

観光地は移動手段となる車両自体にも魅力が必要であると考えます。県内では、福井駅周辺からの移動を楽しめる仕掛けづくりとして「恐竜列車」や「戦国列車」などの「二次交通エンタメ化プロジェクト」が計画され、「ロンドンバス」や「ふくとく」などのユニークな車両もイベント的に運行されていますが、新幹線開業に向けて福井駅以外の新幹線各駅においてもユニークな車両を導入するなど二次交通の充実が必要と考えますが、県の所見を伺います。

Q. 笹原 修之

福井県には、大自然を満喫できるアウトドア施設などがありますが、観光誘客は新しい施設を作らなくとも、「トリムパークかなづ」や「北潟湖畔公園」等、既存施設の利用方法を少し変えるだけで、十分な観光誘客施設に生まれ変わると考えます。新幹線開業に向けて自然環境を活用した既存施設の積極的な利用方法の見直しやそれに対する支援が必要と考えますが、知事の所見を伺います。

A 地域戦略部長

芦原温泉駅エリアは比較的利便性が高いエリアと認識しておりますが、今後、新幹線等の乗り継ぎを考慮し、ダイヤを見直すなどの改善も必要と考えています。県としましては、新幹線駅から観光地への二次交通の整備は大変重要な課題であると考えており、市町や地元観光事業者の意見もしっかりとお聞きをし、観光アクセスの改善を図ってまいります。

A 地域戦略部長

現在、新幹線駅から主要観光地へのアクセスについて現状分析等を行っているところです。今後、路線の充実に加え、観光地をイメージした車両のラッピングやAR技術を活用した映像を車内で楽しめる観光バスの導入など、二次交通のエンタメ化のアイデアを沿線市町、交通事業者とともに検討していきたいと考えております。また、えちぜん鉄道及び福井鉄道で実施しているデジタルスタンプラリーの県内全路線への拡大や、ハピラインふくいへの観光列車の導入についても検討してまいります。

A 知事

今あるものに少し手を加えることで、たくさんの賑わいを生むと思っています。ご指摘いただきましたような北潟湖のアイリスブリッジや吉崎御坊は、とても可能性があるところだと思います。市や町からいろんな良いご提案があれば、我々としてもしっかりと応援をさせていただいて、お金をそれほどかけなくても大きな効果を生む観光施設に生まれ変われると思いますので、しっかりと県としても応援してまいりたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



ぜひ、新しい時代に向けて施設の磨き上げと、
そしてワクワクするような二次交通を期待しております。

普段どういう活動をしているの？

笹原修之の活動報告

【2022.7▶9】抜粋



Q. 笹原 修之

県は、平成30年から令和4年にかけて、重要インフラの機能強化を行い、防災・減災、国土強靱化の加速化・深化を図るため「国土強靱化地域計画」を策定しています。福井県の大動脈である北陸自動車道と国道8号が、今回の水害や近年の雪害によって通行止めになった際、代替路線の必要性が明らかになりましたが、迂回路の充実についてどのように考えているのか、知事の所見を伺います。

Q. 笹原 修之

あわら温泉は、豪雨や豪雪による幹線道路通行止めでの宿泊キャンセルが相次ぎました。近年では、健康増進を図る目的でサイクリングの人気も出てきております。しかし国道305号はサイクリングロードの整備が進んでおらず、また、土砂災害の危険性があることも認識されております。「観光」と「災害」は背中合わせの側面を持っているだけに、両方を同時に整備促進していかなければなりません。土砂災害対策が必要な整備対象路線と、北潟湖サイクリングロードの両面を合わせ持つ「国道305号」の災害対策の整備進捗について、県の所見を伺います。

Q. 笹原 修之

また、北潟湖サイクリングロードの未整備区間に対する進捗状況と今後の対応について、県の所見を伺います。



A 知事

御指摘のとおり嶺南と嶺北の通行が遮断された今回の大雨災害の中で、中部縦貫自動車道が大変大きな役割を果たしたというふうに認識しており、交通のリダンダンシー(代替路線)というものをしっかりと確保することがいかに重要かということを再認識いたしましたところでございます。また、石川県との県境部分の国道8号線で豪雪による大きな渋滞を招き、牛ノ谷・金津バイパスの整備も急務であると考えています。引き続き、国、NEXCOに対し、災害時でも交通ネットワークが確保できるようなものに変えるように強く求めてまいります。

A 土木部長

国道305号は観光道路、生活道路として重要な路線でございます。この路線において対策が必要な斜面は、これまで点検で判明した223か所に対しまして、79か所で対策工事を終了しております。

現在、福井市から南越前町間の6か所で落石防護柵などの工事を行っており、国土強靱化予算を使用して推進しているところでございます。引き続き着実に工事を進めていくとともに、定期的な道路パトロールや点検を実施しまして、国道305号の安全性を高めていきたいと考えています。

A 土木部長

北潟湖畔周遊サイクリングロードの国道305号コースにつきましては、全体4.8キロメートルのうち2.8キロメートルの整備が完了しているおりに、残る2キロメートルにつきましては、地籍困難等により事業が中断している状況でございますが、あわら市と協力しまして、地権者の同意や地籍困難の解消に向けて取り組んでいるところでございます。このような状況のため、令和3年度からは、既存の道路を活用しまして路面標示や案内看板の整備を先行して進めているところでございます。



笹原的まとめ

安全・安心な道路を維持管理していただき、
サイクリングロードの完成を目指していただきたいと思います。



福井県戦没者追悼式に参列



丘陵地農業支援センター運営委員会 総会



子どもの明るい未来推進議員連盟 勉強会



一乗谷朝倉氏遺跡博物館 視察



上番地区の道路崩落を現場確認



県道南横地芦原線の法面舗装の現場確認



敦賀駅前OTTA 視察



あわら地域未来会議



Q. 笹原 修之

コロナ禍の行動制限によって経済が低迷する中、モール型ECサイトで実績を上げている企業は多数あります。しかし、福井県においては、融資や利子補給制度、またIoT・AI等のソフト面の開発補助はあるものの、投下固定資産額や新規雇用者数などの要件が厳しく、県外企業誘致に抱き合わせたような支援制度しか見受けられません。ウイズコロナ時代の経済活性化には、まず地元の成長企業が規模拡大するための力強い補助制度が必要であると考えますが、県の所見を伺います。

A 産業労働部長

コロナ感染症等を機に、議員御指摘のオンラインを活用した事業や物流を含めた関連ビジネスが活性化するなど、企業に高い成長をもたらす要因というものが変化してきたと認識しております。

こうした中、企業誘致補助制度におきましては、成長が期待される事業に対しましては県内企業であっても支援対象となるよう制度拡充を行っております。今後は、県内企業の成長に向けた投資をより一層促進するために必要な施策について、新たな経済ビジョンの中でも検討していきたいと考えております。

Q. 笹原 修之

北陸新幹線開業に向けた「空き店舗の利活用」は、10年以上前から同じことが繰り返されているように感じます。少しでも早く、本気で駅周辺の魅力を向上させるためには、出店者の立場に立った施策と既存制度の見直しが必要と考えますが、県の所見を伺います。

A 産業労働部長

駅前商店街の活性化につきましては、福井駅前におきましては、県、地元自治体、そして経済界とで「ファンド」を設け、空き店舗を含めた既存店舗のリノベーションというものを進めてございます。このファンドでは、出店希望者や地元の御意見も踏まえた上で、新たに共同建て替えも進めやすくするとともに、デジタル化を図る場合には補助額を増額するなど、これまでの空き店舗対策以上の支援制度としてございます。

今後、他の地域において空き店舗対策事業を実施していく場合には、このファンド事業の成果も参考にしていきたいと考えております。



笹原的まとめ

地元企業の成長とともに、

福井の**新**・時代をぜひ推し進めていただきたいと思います。

福井県議会 委員会構成

所屬	総務教育常任委員会	厚生常任委員会	産業常任委員会	土木警察常任委員会	所屬	予算決算特別委員会	議会運営委員会
----	-----------	---------	---------	-----------	----	-----------	---------

今年度は

「総務教育常任委員会」と、

「予算決算特別委員会」に所属しました!!

総務教育常任委員会は、総務部/地域戦略部/会計局/教育委員会/選挙管理委員会/監査委員および人事委員会の議案を審査します。総務部には8課、地域戦略部には9課、教育庁には6課あり、予算決算特別委員会においても同じ部課を担当いたします。

日々の活動

随時更新中!



県政について皆様のご意見・ご要望をお聞かせください!!

明るい未来を目指して。福井 **新**・時代 笹原修之 検索

福井県議会議員 笹原修之事務所

〒919-0632 福井県あわら市春宮三丁目19-15 (ハロープリント内)

TEL 0776-73-4513 / FAX 0776-73-1036 E-mail: sasahara@helloprint.co.jp

